

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名	
一般		10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業【総括表】	
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-3	生涯学習の推進				
	施策	1	自主的学習の推進				
目的	生涯学習講座の開設によるひとづくり						
対象	市民及び市内在勤者						
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること							
○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・石鳥谷・東和の各総合支所での生涯学習講座の開設 ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ○地域（27コミュニティ）で実施する生涯学習事業を支援・・・（研修実施、人材育成等）							
市民参画の有無 【							
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 講座開催数		回		計画	320	330	
				実績	291	319	
②				計画			
				実績			
③				計画			
				実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
① 受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合		%		目標	90.0	90.0	
				実績	97.5	98.9	
②				目標			
				実績			
③				目標			
				実績			
成果指標の達成度	目標値より高い				○	概ね目標値どおり	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・学習機会の提供・きっかけづくりにより、成果として市民の生涯学習活動への意欲の醸成の達成度を測る指標として設定たものであるが、内容の充実した講座等を開設した結果、「受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人」が90%を超える高い割合を達成した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市民のライフスタイルや生活課題が多様多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとづくりにつながり妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・生涯学習機会を提供することにより、趣味や生きがいのための学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心や連帯感の向上が期待できる。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネート、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
○学習機会を提供する各種講座をつうじて、生涯学習のきっかけづくりや、自主学習への関心が高まっている。		
○継続して学習機会の提供を行っていくとともに、併せて地域での主体的・自主的な生涯学習活動を支援していくことが重要である。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業【総括表】

単位：千円

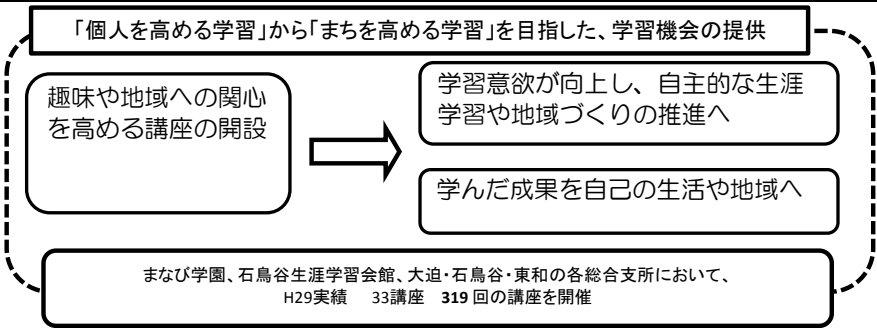
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		23,545	21,520		△ 2,025
財 源 内 訳	国・県				
	地方債	1,200			△ 1,200
	その他				
	一般財源	22,345	21,520		△ 825

※特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標			
生涯学習の推進を図ります。			
事業開始の背景・経緯			
市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。			
事業概要			
○まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・石鳥谷・東和の各総合支所での生涯学習講座の開設 ・高齢者学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・女性学級・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・市民講座・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ○地域（27コミュニティ）で実施する生涯学習事業を支援・・・（研修実施、人材育成等）			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 菊池功昇 内線 419
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- ①富士大学花巻市民セミナー 46千円
【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進
【講座数】H29 1講座6回 まなび学園で開催
報償費46
- ②岩手大学教育学部出前講座（ゼロ予算）
【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進
- ③高齢者学級開催事業 1,703千円
【概要】60歳以上の市民を対象とした、地域学習や生きがいづくりなどを目的とした講座
【講座数】H29 4講座199回
賃金4、報償費868、旅費71、需用費519、役務費29、使用料及び賃借料212
- ④女性学級開催事業 149千円
【概要】家庭や地域社会で心身ともに豊かで明るく楽しく生活していくために、必要な知識や体験を、多様な学習活動を通じて学びあう。
【講座数】H29 4講座23回
報償費122、需用費22、使用料及び賃借料5
- ⑤市民講座開催事業 993千円
【概要】初めての生涯学習の支援、趣味や地域的課題など、初心者向けの講座
【講座数】H29 17講座73回
報償費423、需用費173、役務費74、委託料299、使用料及び賃借料24
- ⑥地域支援室(石鳥谷)生涯学習事業 78千円
【概要】主に子どもを中心とした講座の開催により、子どもの育成や成長を図る。
【講座数】H29 6講座13回
報償費46、需用費32
- ⑦地域生涯学習事業支援 371千円
【概要】地域コミュニティで実施する地域生涯学習事業を支援（研修実施、人材育成など）
研修謝礼14千円、旅費24（先進地視察）、自動車借上331千円（公用車リース）
- ⑧共通経費（社会教育指導員8人等）18,180千円
報酬15,252、職員手当443、共済費2,331、需用費254

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		10	05	01	104340	生涯学習活動支援事業		
総合計画	分野	人づくり						
	政策	3-3	生涯学習の推進					
	施策	1	自主的学習の推進					
目的	自主的な生涯学習の取り組み支援							
対象	市民及び市民団体							
意図	生涯にわたっていつでもどこでも学べる環境を提供する							
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
○ふれあい出前講座（開催回数509回） 生涯学習講師、公共機関の職員を10人以上のグループに講師として派遣。専門知識等を生かした講座実施								
○生涯学習フェア（まなび学園祭）開催 まなび学園利用者の学習成果の発表の場・市民の生涯学習のきっかけづくり								
○まなびキャンパスカード 児童生徒・富士大生が公共施設を利用しやすくすることで、ふるさと花巻への認識を高める。								
○学習資源検索システム（はなまきまなびガイド） 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関などをHP（はなまきまなびガイド）で紹介								
○まなび情報ステーション まなび学園に生涯学習団体等が情報発信できるコーナーを設置								
○まなびキャンパススタンプラリー 各課（機関）の事業を生涯学習の単位と見做すことで、主体的な生涯学習活動を支援								
市民参画の有無 【 】								
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	生涯学習団体登録数	団体	計画		190	190		
			実績		134	133		
②			計画					
			実績					
③			計画					
			実績					
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	生涯学習講師新規登録者数	人	目標		20	14		
			実績		11	7		
②	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標		90.0	90.0		
			実績		97.5	98.9		
③	まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合	%	目標		70.0	70.0		
			実績		48.0	48.0		
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○	目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
【成果指標の指定根拠】 ○生涯学習講師新規登録者数 ・講師登録の多かった60代が現役労働者の時代であることや、個人での登録を差し控える傾向にあり、減少傾向と考える。 ○受講者アンケートで「もっと学んでみたい」と答えた人の割合 ・当事業で、生涯学習を自主的に取り組むための様々なメニューを提供しており、特にも「ふれあい出前講座」は人気のメニューで、多くの講師を派遣することが出来たことにより学習意欲の醸成に繋がっていると史料される。 ○まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合 ・まなび学園祭は、「学習成果の発表の場」「生涯学習のきっかけづくりの場」と位置付けており、観覧等を通じて、市民の学習ニーズや学習意欲の向上に少なからず影響を与えていると史料されるものの、アンケートでは、約半数の方にとどまっており、さらなる魅力づくりが必要と考える		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・生涯にわたっての学び、心豊かな生活を送るため、市民の生涯学習への取組みを支援することは妥当である
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・生涯学習活動への支援により、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心等も深まり、学習に取り組む市民が増えていくことが期待できる
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業費は講師の派遣経費や学習資源の検索システムのランニングコスト等であることから削減余地はない。 ・職員が関わるのは、内容の企画立案・実績集約・講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
○生涯学習のきっかけづくりとして、多様な学習機会の提供を行ったことにより、市民の主体的・自主的に学ぶ意欲が高まっている。		
○本事業の構成は、市民が主体的に学ぶために必要な、講師等の学習資源の紹介、（市の生涯学習拠点施設における）学習成果の発表の場・生涯学習のきっかけづくりを活動として盛り込んでおり、今後とも主体的、自主的に学ぶ意欲の醸成に努めていきたい。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104340	生涯学習活動支援事業

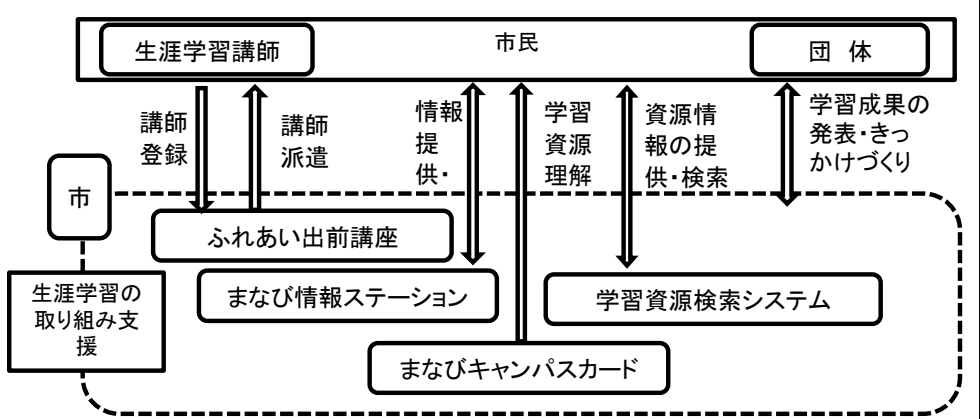
単位：千円				
	28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	6,329	6,640		311
財源内訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	6,329	6,640	311

※特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標			
生涯学習の推進を図ります。			
事業開始の背景・経緯			
市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。			
事業概要			
○ふれあい出前講座（開催回数509回） 生涯学習講師、公共機関の職員を10人以上のグループに講師として派遣。専門知識等を生かした講座実施			
○生涯学習フェア（まなび学園祭）開催 まなび学園利用者の学習成果の発表の場・市民の生涯学習のきっかけづくり			
○まなびキャンパスカード 児童生徒・富士大生が公共施設を利用しやすくすることで、ふるさと花巻への認識を高める。			
○学習資源検索システム（はなまきまなびガイド） 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関などをHP（はなまきまなびガイド）で紹介			
○まなび情報ステーション まなび学園に生涯学習団体等が情報発信できるコーナーを設置			
○まなびキャンパススタンプラリー 各課（機関）の事業を生涯学習の単位と見做すことで、主体的な生涯学習活動を支援			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 菊池功昇 内線 419
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- ①ふれあい出前講座 2,081千円
報償費2,010、需用費56、役務費15
- ②生涯学習フェア（まなび学園祭）開催 804千円
報償費53、需用費165、役務費6、委託料437、使用料及び賃貸料143
- ③まなびキャンパスカード 186千円
需用費186
- ④学習資源検索システム（はなまきまなびガイド） 189千円
委託料189
- ⑤まなび情報ステーション （ゼロ予算）
- ⑥まなびキャンパススタンプラリー （ゼロ予算）
- ⑦共通経費 3,380千円
賃金等3,195（臨時補助員賃金2名分等）、需用費114、役務費71

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名			
一般		10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業			
総合計画	分野	人づくり							
	政策	3-3	生涯学習の推進						
	施策	1	自主的学習の推進						
目的	生涯学習の取り組み支援								
対象	市民、市内に勤務先を有する者								
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる								
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること									
視聴覚教育事業 ・視聴覚資料の貸出（学校、振興センター、自治公民館等） ・16ミリ映写機操作技術講習会 ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台） ・図書館こども映画会（毎月1回） ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回） ・こどもの読書週間時（1回） ・読書週間時（2回） ・休日ほっと映画会（毎月1回） ・バリアフリー映画会（聴覚障害者等）									
市民参画の有無 【 対象外 】									
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定			
		後援・協賛		補助・助成		委託			
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
①	視聴覚資料の利用本数	本	計画	370	370				
			実績	330	385				
②			計画						
			実績						
③			計画						
			実績						
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
①	視聴覚資料を活用した観覧者数	人	目標	6,700	6,700				
			実績	6,898	8,499				
②			目標						
			実績						
③			目標						
			実績						
成果指標の達成度	○	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い			

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
平成28年度より事業目的である生涯学習の推進を図る中で良質な視聴覚資料を多くの市民が活用し、自主的学習を支援していくため、成果指標を視聴覚資料を活用した観覧者数としたが、各社会教育機関等への資料活用の周知を図っている成果により利用者数が増加したものと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある ○ 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	子ども向けの映画会については、児童が視聴できる開催時間、開催日を検討する。また、多くの市民に視聴覚ライブラリーの活用を促すため、図書館ホームページや振興センターを通じて情報提供を積極的に行うことで視聴覚資料の利用拡大を図る。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。非常勤職員1名で月2回の映画会及び春・夏・冬休み、読書週間等の映画会に対応している。他にも他市町村や市内の関係団体等への視聴覚資料の貸し出しや16ミリ映写機講習会、カウンター業務及びレファレンス業務も行っており、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っており、受益者への偏りはない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
視聴覚教育事業の周知については、今後も引き続き図書館ホームページ等で視聴覚ライブラリー情報を提供するとともに、各種団体への周知方法を強化及び資料の整備収集を行い、自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図っていく。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,661	2,708		47
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,661	2,708		47

※特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
生涯学習の推進を図ります。				
事業開始の背景・経緯				
社会教育法第5条第12号に規定する視聴覚教育に関する事務で、平成19年3月までは、岩手県中部地域視聴覚協議会として事業を実施してきた。平成19年4月からは、花巻市立花巻図書館に事務事業が引き継がれ、事業を実施している。				
事業概要				
視聴覚教育事業 ・視聴覚資料の貸出（学校、振興センター、自治公民館等） ・16ミリ映写機操作技術講習会 ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台） ・図書館こども映画会（毎月1回） ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回） ・こどもの読書週間時（1回） ・読書週間時（2回） ・休日ほっと映画会（毎月1回） ・バリアフリー映画会（聴覚障害者等）				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				
花巻市図書館協議会の中でも視聴覚資料の充実に関する要望があり、今後更に視聴覚資料や機器の周知および利用促進を図る。				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 伊藤佐代 内線 8-383

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】
事業の概要 ① 視聴覚教育の相談及び教材の貸出（年間） ② 16ミリ映写機操作技術講習会（年1回） ③ 16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台） ④ 図書館こども映画会（毎月1回） ⑤ 夏・冬・春休みこども映画会（各1回） ⑥ こどもの読書週間時（1回） ⑦ 読書週間時（2回） ⑧ 休日ほっと映画会（毎月1回） ⑨ バリアフリー映画会（聴覚障害者等） 経費の内訳 1 報酬 1,924 社会教育指導員報酬 1人 2 共済費 289 社会教育指導員社会保険料等 1人 3 報償費 18 16mm映写機操作講習会講師謝礼 4 旅費 2 岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会研修会 5 需用費 64 プロジェクター修理等 6 役務費 145 16mm映写機保守点検料等 7 備品購入費 249 視聴覚資料（DVD）7点購入 8 負担金補助金及び交付金 17 岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会負担金
保守点検対象機器所有台数 1 6ミリ映写機 25台（花図5・大図1・石図1・東図2・学校1・振興センター7他）
花巻図書館ライブラリー機材保有台数 ①DVDプレーヤー 1台 ②プロジェクター 4台
花巻図書館ライブラリー資料所有本数 ①16ミリフィルム 126本 ②DVD 276本 ③ビデオテープ 736本
平成29年度花巻市内教材利用状況（県内ライブラリー借用上映も含む） 観覧者数 8,499人 上映回数 276回 教材使用本数 385本
平成29年度16ミリ映写機保守点検（6台） 16ミリフィルムの破損防止を図るため、計画的に点検を実施（利用頻度順） 花巻図2、大迫図1、東和図1、生涯学園都市会館1、湯口振興センター1 （交換部品がある場合は所有者負担）

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名		
一般		10	05	01	104410	若者魅力アップセミナー開設事業		
総合計画	分野	人づくり						
	政策	3-3	生涯学習の推進					
	施策	1	自主的学習の推進					
目的		生涯学習講座の開設によるひとづくり						
対象		市内に在住・在勤の20歳から40歳までの独身男女						
意図		コミュニケーション能力の向上を図るとともに自分の魅力を高め、豊かな心を形成する						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること								
○「若者魅力アップセミナー」の開設（年6回）								
市民参画の有無 【 】								
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定		
		後援・協賛		補助・助成		委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	魅力アップセミナー開設回数	回	計画		6	6		
			実績		6	6		
②			計画					
			実績					
③			計画					
			実績					
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①	講座の受講満足度（受講者アンケート）	%	目標		75.0	75.0		
			実績		100.0	100.0		
②	自分に自信が持てるようになった人の割合（受講者アンケート）	%	目標		80.0	80.0		
			実績		83.3	91.7		
③			目標					
			実績					
成果指標の達成度	○	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
○「講座の受講満足度」 県内では、20歳～40歳を対象とした出会いやマナーに関するセミナーが少ないことから関心が得られ、また各回とも講師の話が分かりやすかったとの感想が多く理解度の高さが伺われ、満足度も高い数値であると思料される。 ○「自分に自信が持てるようになった人の割合」 アンケートでは、講座の中で様々なマナーやスキルを身につけることが出来たとの回答が多く、参加者が回を重ねるごとに自分のスキルアップを実感することができるプログラムであったことが伺われ、高い数値割合であると思料される。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	・市民のライフスタイルや生活課題が多様化している中で、新たな課題に対して市民が学ぶきっかけづくりの取り組みであり、市の関与は妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・受講者満足度等の成果指標により、有効性が判断されることとなるが、今日的な課題解決に向けた講座として設定することから有効と考える。
	○ 向上余地がある 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・H26からH29まで専門の事業者講師に講師派遣委託して実績を得ながら講座運営のノウハウを蓄積してきたことにより、直営での実施に切り替え委託経費を削減して事業を検討することとした。
	○ 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、他の市民講座と同様に新たな課題を解決するための市民を対象としており、受益の機会は均等している。 ・講座開催の最低限の経費となる講師謝礼等を公費負担としており、適正である。
	受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
○平成29年度に観点別評価で構成する「事後アンケート」を開催したところ、満足度は高く回答者全員が講座に満足していると答えており、受講者には概ね好評である。満足度以外の項目は以下のとおり。 ・以前よりもコミュニケーション・ファッションなどに関心を持つようになった人の割合 100.0% ・以前よりも自分に自信が持てるようになった人の割合 91.7% ・セミナーで習ったことを実践している人の割合 83.3% ・コミュニケーションやファッションの技術が身に付いたと思う人の割合 100.0% ・セミナーの内容に満足していると回答した人の割合 100.0% ○講座の実施内容について、概ね好評であり、問い合わせも多い。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104410	若者魅力アップセミナー開設事業

単位：千円

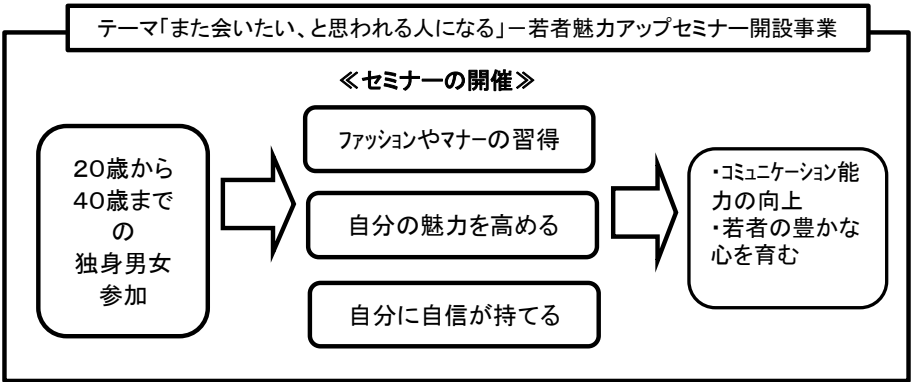
		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1, 120	896		△ 224
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1, 120	896		△ 224

※特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標			
生涯学習の推進を図ります。			
事業開始の背景・経緯			
市内の若者のコミュニケーション能力を向上し、自分の魅力を高め、もって豊かな心が形成される機会とするために開設した。			
事業概要			
○「若者魅力アップセミナー」の開設（年6回）			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			
H28年度の市政懇談会において、いい取り組みであるとの意見をいただいている。			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 菊池功昇 内線 419
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○「若者魅力アップセミナー」の開設 896千円

報償費3、需用費102（消耗品費32、印刷製本費70）

委託料 791千円

・全6回開催（7月～12月）

・内 容：自己カウンセリング、コミュニケーション、ファッション・ヘアスタイル
立ち居振る舞い、マナーとエスコート、ディナー実践演習

《参考》 平成29年度 はなまき若者魅力アップセミナー学習プログラム			
テーマ	回	日 程	タイトル・内容
心が第一	1	7月23日（日） 13:00～17:00	また会いたい、と思われる人になる 13:00～16:00（3h） （内容）自己分析 ・交流レクリエーション・組織づくり 16:00～17:00（1h）
コミュニケーション上手になる	2	8月27日（日） 13:30～16:30	良好なコミュニケーションを築く （内容）人間関係、男女関係を豊かにするためのコミュニケーションの基礎、実践を学ぶ。男女の脳の違いや心理を知る
見た目を高める	3	9月17日（日） 13:30～16:30	自分に似合うカラーとファッション、ヘアスタイルを知って見た目アップ （内容）生まれ持った瞳、肌、髪の毛の色素に合ったパーソナルカラーや色彩心理を知る
素敵な動き方	4	10月22日（日） 13:30～16:30	自分の魅力が引き立つ！立ち居振る舞い （内容）歩き方、座り方、立ち居を含めた日常でのさまざまなしぐさ、身のこなしの知識と実践
マナー美人になる（女性）	5	11月12日（日） 13:30～16:30	マナー美人の女性になる！ （内容）食事やパーティーなどに誘われたとき恥じないよう、正しく美しいマナーを学ぶ・スマートにエスコートを受ける方法
エスコートの秘訣（男性）			スマートなエスコートとは！ （内容）食事やパーティーなどで、スマートにエスコートできるよう具体的なシチュエーションに合わせた知識と実践
実践演習	6	12月10日（日） 15:00～17:30	ディナー演習～見つけた、最高の自分～ （内容）セミナーで学んだ成果を生かした実践発表と交流会

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104430	東和コミュニティセンター整備事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習・地域づくり活動の場の整備					
対象	東和コミュニティセンター					
意図	東和地域における生涯学習及び地域づくり活動の推進が図られる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
東和コミュニティセンター整備に係る解体工事設計業務及び基本設計作成業務、地質調査業務						
市民参画の有無 【 東和地域における説明会（基本計画 H29. 8月実施予定） 】						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
		後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①	解体工事設計業務	件	計画		1	
			実績		1	
②	基本設計業務	件	計画		1	
			実績		1	
③	地質調査業務	件	計画		1	
			実績		1	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
①		件	目標			
			実績			
②		件	目標			
			実績			
③		件	目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市が設置する施設であり、良好な状態で使用していただくための整備は市が行うことが妥当である。
	☐ 妥当である	
	見直し余地がある ☐ 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	地域の意見を聞き、使いやすく、また、安全性を確保し、利用しやすい施設の整備を図る。
	☐ 向上余地がある	
	向上余地がない ☐	
効率性	事業費・人件費の削減余地	見積により要求しているため、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ☐ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市が設置する施設であり、利用者からは、無料を基本とし冷暖房料の負担や、営利企業などの場合には使用料を徴収する。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ☐ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
耐震診断（平成27年11月）により安全が確保できないこと、東和コミュニティセンター検討委員会からの提言書（取り壊し及び施設整備の検討）が提出された。現在は休止しており近隣施設を活用しているが、人口減少、過疎化によりコミュニティの希薄化が進行する中、これまで以上に地域住民による自主的な地域づくりが肝要であり、東和地域におけるコミュニティ交流機能を持つ活動拠点が必要である。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104430	東和コミュニティセンター整備事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			10,735		10,735
財 源 内 訳	国・県				
	地方債		5,600		5,600
	その他				
	一般財源		5,135		5,135

※特定財源の内訳
・過疎債 5,600千円 解体工事設計業務、地質調査業務

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標			
地域の特色を生かした地域づくり			
事業開始の背景・経緯			
地域（東和コミュニティセンター検討委員会）からの提言をうけ、当該施設の耐震診断を実施した結果、安全性の確保が困難なことから平成28年4月1日をもって休止した。地域からは施設整備を要望されている。			
事業概要			
○解体工事設計業務 ・本体解体 鉄筋コンクリート造3階建て 床面積1,525.73㎡ aー建築工事（煙突カポスタック解体含む：アスベスト含有材） bー機械設備工事（浄化槽一部解体；：機械室上屋共含む、地下タンク一部解体：上スラブ含む） cー電気設備工事（新設体育館配線接続工事含む） ・物置A解体 木造平屋建て 床面積 4.97㎡ ・物置B解体 鉄骨造平屋建て 床面積26.50㎡ ・開放渡り廊下解体 鉄骨造2階建て 床面積25.70㎡			
○基本設計業務 建築（総合）基本設計図書、建築（構造）基本設計図書、工事費概算書、仮設計画概要書 電気設備基本設計図書、工事費概算書 機械設備基本設計図書、工事費概算書 概略工事工程表、各種技術資料			
○地質調査業務 機械ボーリング調査2ヶ所、標準貫入試験27回、室内土質試験6試料、解析等調査業務一式			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			
地域からは現施設の解体撤去、新施設整備の要望がある（H27.9.24東和コミュニティセンター検討委員会より提言書提出）。また、同委員会でアンケート調査を実施したところ、現施設を取り壊した場合、新施設が必要と回答した割合87.5%であった。			

担当部署 部名 東和総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 及川恒雄 内線 9-40-303

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】	
1 経緯	
H26.10.23	土沢地区市政懇談会 （東和コミュニティセンターの今後の方向性について質問があり、東和地域の最重要課題として取り組んでいきたい旨回答）
H27.9.24	東和コミュニティセンター検討委員会より、「東和コミュニティセンターのあり方について」提言書提出
H27.11.11～12.28	耐震診断実施
H27.12.4	議員説明 （耐震基準を満たしていないとする耐震診断の中間報告について説明）
H27.12.28	耐震診断最終結果 （中間報告と数値は変わらず、安全性が確保できない）
H28.1.21	市民説明会 （耐震診断最終結果に伴う使用休止及び代替施設等について説明）
H28.2.15	東和コミュニティセンター代替施設等説明会 （東和コミュニティセンター利用団体へ代替施設利用について説明）
H28.3.22～31	外周の仮囲い及び待合室設置
H28.3.28～31	事務室団体保健センターへ引っ越し
2 事業内容	
(1) 東和コミュニティセンター解体工事設計業務 2,430千円	
・本体解体 鉄筋コンクリート造3階建て 床面積1,525.73㎡ aー建築工事（煙突カポスタック解体含む：アスベスト含有材） bー機械設備工事（浄化槽一部解体；機械室上屋共含む、地下油タンク一部解体：上スラブ含む） cー電気設備工事（新設体育館配線接続工事含む） ・物置A解体 木造平屋建て 床面積4.97㎡ ・物置B解体 鉄骨造平屋建て 床面積26.50㎡ ・開放渡り廊下解体 鉄骨造2階建て 床面積25.70㎡	
(2) 東和コミュニティセンター基本設計業務 5,076千円	
建築（総合）基本設計図書、建築（構造）基本設計図書、工事費概算書、仮設計画概要書 電気設備基本設計図書、工事費概算書 機械設備基本設計図書、工事費概算書 概略工事工程表	
(3) 東和コミュニティセンター地質調査業務 3,229千円	
機械ボーリング2ヶ所、標準貫入試験27回、室内土質試験6試料、解析等調査業務一式	

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名			
一般		10	05	01	104450	生涯学習施設整備事業			
総合計画	分野	人づくり							
	政策	3-3	生涯学習の推進						
	施策	1	自主的学習の推進						
目的	早池峰神楽（大償神楽）の活動の拠点施設の機能強化を図る。また、老朽化している生涯学習施設を安全で快適な学習空間として適切な維持管理を行う。								
対象	大償神楽鑑賞者（神楽ツアーを含む）、大償神楽伝承者（保存会ならびに後援会）、大迫高校生徒（文芸部神楽班）、地域住民、石鳥谷生涯学習会館								
意図	増加する施設来訪車両の収容と安全確保のため、駐車場の舗装整備を行う。また、手連れの方や高齢者等も含めて市民が生涯学習や活動の機会に多く参加できる環境をつくる								
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること									
○神楽の館駐車場舗装整備 ○石鳥谷生涯学習会館の修繕等 ①石鳥谷生涯学習会館講堂棟における雨漏り修繕（防水塗装） 石鳥谷生涯学習会館講堂棟外壁等修繕 ②エレベーター設置について、内部（改築）と外部（増築）とで構造や費用、手続きなどを比較検討のうえ設置場所を決定し、実施設計を行う。 エレベーター設置比較検討業務委託 エレベーター設備設計業務委託									
市民参画の有無 【 対象外 】									
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		事業協力・協定			
		後援・協賛		補助・助成		委託			
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
① 神楽の館施設利用者数		人		計画	1,800	1,800			
				実績	2,025	1,892			
② 石鳥谷生涯学習会館の利用者数		人		計画		16,100			
				実績	16,026	17,077			
③ 2階以上の利用率		%		計画		15.0			
				実績	14.8	17.9			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位		区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)		
① 学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合		%		目標		22.9			
				実績	22.9	23.7			
②				目標					
				実績					
③				目標					
				実績					
成果指標の達成度			目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
市が管理する早池峰神楽（大償神楽）の活動の拠点施設の駐車場の舗装整備を行うことにより利便性の向上と機能強化を図った。 利用者の不便を解消するとともに安全性を確保することにより、生涯学習の拠点として利用している状況を利用者数により把握する。また、エレベーター設置による効果として2階以上の利用割合を把握する。 平成30年度はエレベーター設置工事に伴い利用が制限され利用者が減少することを想定しているが、エレベーター設置後は従前に戻り、以降は増える傾向と見込んでいる。		
目的 妥当性	公共関与の妥当性	早池峰神楽の保存伝承を支援することは、広く地域の活性化に資することとなり妥当である。 また、市が設置する施設であり、良好な状態で使用していくための整備を市が行う必要がある。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	早池峰神楽の保存伝承において施設環境を整えることにより、大迫地域全域への効果が期待される。 また、利用しやすい施設とすることで、施設の利用率の向上を図る。
	向上余地がある	
	○ 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	限られた敷地を有効に活用するものであり、削減の余地はない。 経年劣化に伴い、修繕を必要とする設備等が年々増加している。緊急性の高いものから実施しており、事業費削減の余地はない。施設の管理運営にかかる最小限の人員であり削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	地域住民のほか、広く神楽愛好者が集う施設であるとともに、地域の生涯学習活動にも使用していることから公平で適正である。施設の老朽度や危険度を総合的に考慮しながら、市全体で整備が必要な施設を判断して公平性を確保する。また、施設使用料は市民の生涯学習活動は無料とし、営利目的等の利用者に対しては統一的な基準で使用料を徴収する。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
○ 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
早池峰神楽の保存伝承と活用による地域活性化を図るため神楽の館施設環境の整備は必要である。 石鳥谷生涯学習会館は地域の生涯学習の拠点施設である。また、石鳥谷町芸術文化協会、花巻市青少年育成会議の活動拠点としての役割も担っている。 生涯学習施設の安全性及び利便性の向上とともに施設の長寿命化により、多くの市民に生涯を通じた学習活動の場が提供できる。 そのほか、道の駅石鳥谷や南部杜氏協会と隣接した立地から事業所の研修会や杜氏講習会の会場として利用されるなど多様な活用が期待できる。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104450	生涯学習施設整備事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			18,008		18,008
財 源 内 訳	国・県				
	地方債		10,700		10,700
	その他				
	一般財源		7,308		7,308

※特定財源の内訳	
21-01-08-02 生涯学習施設	10,700千円（合併特例債）

事業期間	単年度繰返	〇	期間限定	〔平成 29 年度 ～ 平成 29 年度〕
部重点施策における目標				
地域が主体となった個性あふれる地域づくりを支援します。 生涯学習活動を更に充実させる。				
事業開始の背景・経緯				
早池峰大償神楽の保存伝承活動を支援するため、拠点施設である神楽の館の駐車場舗装が必要である。また、石鳥谷生涯学習会館の適切な施設管理が必要だが、雨漏りが複数発生しトイレの使用禁止に至るなど、緊急に防水対策が必要である。				
事業概要				
○神楽の館駐車場舗装整備 ○石鳥谷生涯学習会館の修繕等 ①石鳥谷生涯学習会館講堂棟における雨漏り修繕（防水塗装） 石鳥谷生涯学習会館講堂棟外壁等修繕 ②エレベーター設置について、内部（改築）と外部（増築）とで構造や費用、手続きなどを比較検討のうえ設置場所を決定し、実施設計を行う。 エレベーター設置比較検討業務委託 エレベーター設備設計業務委託				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				
【要望書提出】神楽の館駐車場舗装整備（平成28年1月15日付：早池峰大償神楽保存会ほか2名）【議会一般質問】早池峰大償神楽への支援（平成28年12月定例会：近村晴男議員）H29.2まちづくり懇談会（芸術協会）にて石鳥谷生涯学習会館のユニバーサル化について意見があり、設置の可否に関し建物の構造などを早く調査したいと回答している。公共施設等総合管理計画における個別施設計画では改築				

担当部署 部名 大迫総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 黒 沼 寿 夫 内線 920-220

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】	
【神楽の館 駐車場舗装整備】 6,416千円 1 整備内容 駐車場は碎石整備となっており、除雪作業において人力での作業が難しく、トラクターを使用すると碎石まで除去されるといった課題があるほか、来館する高齢者や車いす利用者が不便を感じていることから、舗装整備とした。 なお、平成28年度に施設東側から駐車場への雨水流入解消のため整備した排水路を舗装整備の際に大償川まで延長した。	
2 事業費の内訳 委託料（アスファルト舗装1,020㎡、排水路延長L=14m、暗渠排水延長L=30m）6,416,280円	
【石鳥谷生涯学習会館の修繕等】 11,592千円 1 修繕等内容 外壁クラックが大きく剥離していることなどから、雨水が建物内部に浸水し天井から漏水しており躯体損傷がみられる。冬季間は凍害によりさらに躯体損傷が増大する恐れがあるため、雨水浸水をなくし長寿命化を図るため早急に修繕が必要である。 また、既存施設の有効活用を図るため、石鳥谷生涯学習会館の2階及び3階が高齢者等にも利用しやすいようエレベーター設備の新設に向けて、構造や費用等の面から検討したうえで設計を行う。	
2 事業費の内訳 ① 石鳥谷生涯学習会館講堂棟外壁等修繕 8,730千円 講堂東側男女トイレ及びロビー、講堂舞台の雨漏り防水のため外壁等修繕 8,083,000×1.08=8,729,640円 ② 石鳥谷生涯学習会館エレベーター設備新設設計業務委託 2,862千円 エレベーター設置比較検討業務委託 250,000円×1.08=270,000円 エレベーター設計業務委託 2,400,000円×1.08=2,592,000円	

平成 29 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計		款	項	目	事業コード	事業名					
一般		10	05	03	104460	読書活動推進事業					
総合計画	分野	人づくり									
	政策	3-3	生涯学習の推進								
	施策	1	自主的学習の推進								
目的		読書活動の推進									
対象		乳幼児～高校生、一般									
意図		乳幼児親子への絵本配布や読み聞かせ指導、乳幼児～小学生を対象とした「おはなし会」等の開催で親子のふれあいと読書への関心を高め、読書活動に関心のある市民を対象としたスキルアップ講座を行うことにより、更なる読書活動の推進を図る。									
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること											
○ブックスタート及びブックスタートプラス事業 ・4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導を実施。 ○読書活動推進 ・図書館司書の配置及び乳幼児親子から小学校低学年を対象にした読み聞かせの実施。 ○花巻市みんなでライブラリー事業 ・読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生とその保護者を対象とした図書館及び読書に関連した事業を実施。 ・親子で読書や図書館にふれ合い参加できる事業計画 ○花巻市読書活動推進スキルアップ講座（富士大連携） ・読書に関心のある市民等を対象とした図書館の基礎講座、読み聞かせ指導 ○読書おもいで帳の配付・活用促進 ・市内小学校新入学児の希望者に読書おもいで帳を配布し、読書への関心を高め図書館の利用促進を図る。											
市民参画の有無		[対象外]									
市民協働の形態				共催				実行委員会・協議会		事業協力・協定	
				後援・協賛				補助・助成		委託	
	活動指標（上記「事業概要」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)			
①	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ実施回数			回	計画	125	125				
					実績	123	125				
②	読み聞かせ実施回数			回	計画	125	125				
					実績	125	145				
③					計画						
					実績						
	成果指標（上記「意図」に対応）			単位	区分	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)			
①	ブックスタートおよびブックスタートプラス、フォローアップ参加率			%	目標	95.0	99.0				
					実績	98.2	98.6				
②	読み聞かせ参加者数			人	目標	1,800	1,850				
					実績	1,984	2,133				
③					目標						
					実績						
成果指標の達成度			目標値より高い		○	概ね目標値どおり			目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）		
対象者を11か月児から4か月児に変更したことにより、早い時期からより多くの母子参加の機会が得られ、読書推進を行うことができています。 平成29年度は、ブックスタートの内容の見直しや7か月のフォローアップの充実を図り、概ね目標値を達成している。 読み聞かせは、子どもが減少していることから読み聞かせ参加者数の目標値の見直しを行ったが、読み聞かせやイベントを子どもたちや保護者が興味を持ちそうな講師や内容で行うなどの工夫をし、参加を得ている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもの読書活動の推進に関する法律及び第三次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、市が読書活動の環境の整備を推進するものである。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	4か月児と1歳6か月を対象とするブックスタート事業にフォローアップを加え、参加率の向上を図っている。また、事業の実施に当たっては、チラシやホームページ等を活用し、周知を図る。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、配布絵本の購入費や非常勤職員報酬がほとんどであることから、削減の余地はない。また、人件費はブックスタート等事業を月4回（2時間程度）実施し、読み聞かせは、月3回（1時間程度）実施しており、その他はカウンター業務やレファレンス業務を行っているため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	○ どちらも削減余地がない	市内全域の乳幼児等を対象としており、公平・適正に実施されている。
	受益と負担の適正化余地	
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
・平成14年度から実施してきたブックスタートに加え、平成24年度から新たにブックスタートプラスとして1歳6か月児健診時に実施し、参加率の向上が図られた。引き続き2つの事業を実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図ることができる。 ・読み聞かせの参加者数は大きい増加はしていないが、継続して実施することにより本への関心度をさらに高めることができ、読書習慣が身につくことが期待されるため、引き続き広報誌・えふえむ花巻の図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、読み聞かせボランティア等の協力を得て実施していく。		

平成 29 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業

単位：千円

		28年度 決算額(A)	29年度 決算額(B)	30年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,548	6,929		381
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,548	6,929		381

※特定財源の内訳	

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
部重点施策における目標				
生涯学習の推進を図ります。				
事業開始の背景・経緯				
読書活動推進については、各図書館で実施してきたが、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、この法律等に基づき、花巻市においても「子ども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進を図っている。				
事業概要				
○ブックスタート及びブックスタートプラス事業				
・4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導を実施。				
○読書活動推進				
・図書館司書の配置及び乳幼児親子から小学校低学年を対象にした読み聞かせの実施。				
○花巻市みんなでライブラリー事業				
・読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生とその保護者を対象とした図書館及び読書に関連した事業を実施。				
・親子で読書や図書館にふれ合い参加できる事業計画				
○花巻市読書活動推進スキルアップ講座（富士大連携）				
・読書に関心のある市民等を対象とした図書館の基礎講座、読み聞かせ指導				
○読書おもいで帳の配付・活用促進				
・市内小学校新入学児の希望者に読書おもいで帳を配布し、読書への関心を高め図書館の利用促進を図				
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）				

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 伊藤佐代 内線 8-383
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①ブックスタート及びブックスタートプラス事業 1,664千円

・保健センターで開催される4か月児の離乳食教室(ブックスタート)及び1歳6か月児健診(ブックスタートプラス)に合わせて、絵本を贈り読書指導を行う。

1	ボランティア謝礼	49	花巻	大迫	石鳥谷	東和
2	絵本等	1,601	毎月各2回	隔月1回	ブックスタート 隔月1回	毎月1回
3	切手代	14			ブックスタートプラス 毎月1回	毎月1回

②読み聞かせ事業 4,608千円

・乳幼児親子から小学生低学年を対象とした読み聞かせの実施。

1	社会教育指導員報酬 2人	3,798	花巻	おはなし会 (0～2歳、3～4歳、5～小学低学年対象)	毎月各1回
2	社会保険料等	571			
3	講師、読書ボランティア謝礼	207	大迫	おはなし会	月2回
4	読み聞かせ消耗品	32	石鳥谷	おはなし会	毎週1回
			東和	読み聞かせ会	月2回

③【新規】花巻市みんなでライブラリー事業 109千円

・小学生から高校生とその保護者を対象に、図書館及び読書への関心を高めることにより、読書習慣の定着化や図書館の活用方法の周知、本と親しむ喜びなどを体得させる。

1	講師、ボランティア謝礼	0	小中高生を対象とした会員制の「こども読書くらぶ」から、子ども及び保護者が参加できる事業に見直し
2	需用費	104	
3	切手代	5	

④読書活動推進スキルアップ講座 95千円

・読書活動を行っている個人、団体等のスキルアップを図るとともに、習得した知識や技術を図書館運営に活かすことにより、市民参画による開かれた図書館運営を目指す。

1	講師謝礼	80
2	需用費	13
3	切手代	2

⑤【新規】読書おもいで帳の配付・活用促進 453千円

・市内小学校新入学児の希望者を対象に読書おもいで帳を配付することにより、読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。

1	需用費	453
	記録帳	3,000冊×@151.2=453千円
	インク	0千円

平成 29 年度事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

